

鉄鋼流通業界の動向

LEAD THE VALUE

2020年6月

株式会社 三井住友銀行

コーポレート・アドバイザー本部 第二部

企業調査部

- 本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日時点で弊行が一般に信頼できると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。
- ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いくださいますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。



三井住友銀行

1. 国内鉄鋼市場の動向	2
2. 鉄鋼流通業界の特徴	6
3. 鉄鋼流通業界を取り巻く環境の変化	8
4. 鉄鋼流通業者の動向	11
5. 総括	12
Appendix.	17

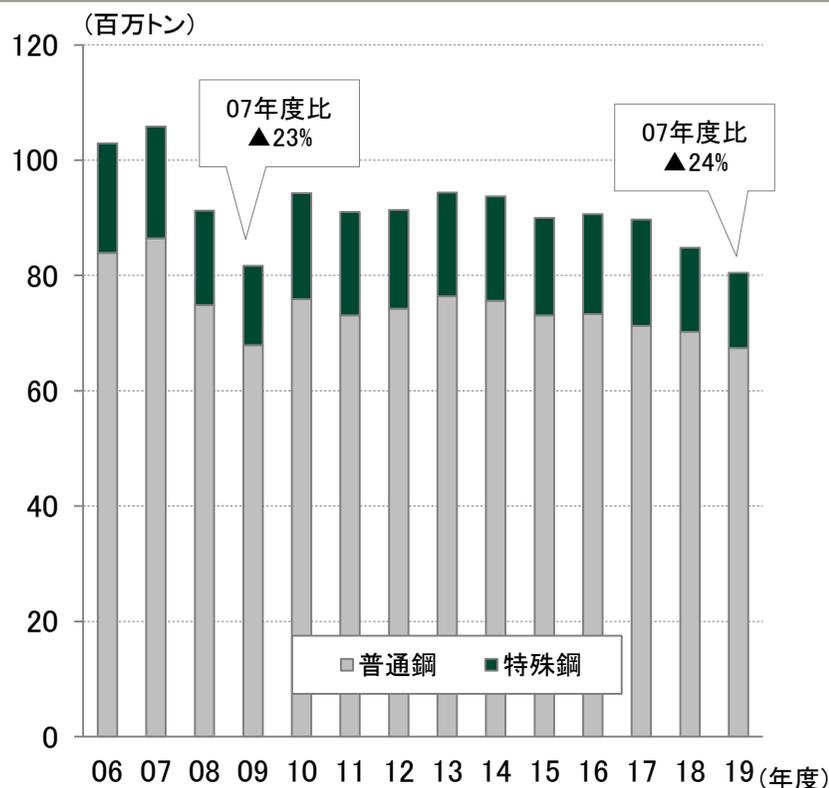
1. 国内鉄鋼市場の動向 ～鋼材需要

鋼材は様々な用途に使用されますが、一般的に建設向けや自動車向けの割合が高いとされています。また、鉄鋼流通業者は基本的に内需を主体に事業を展開している点が特徴です。

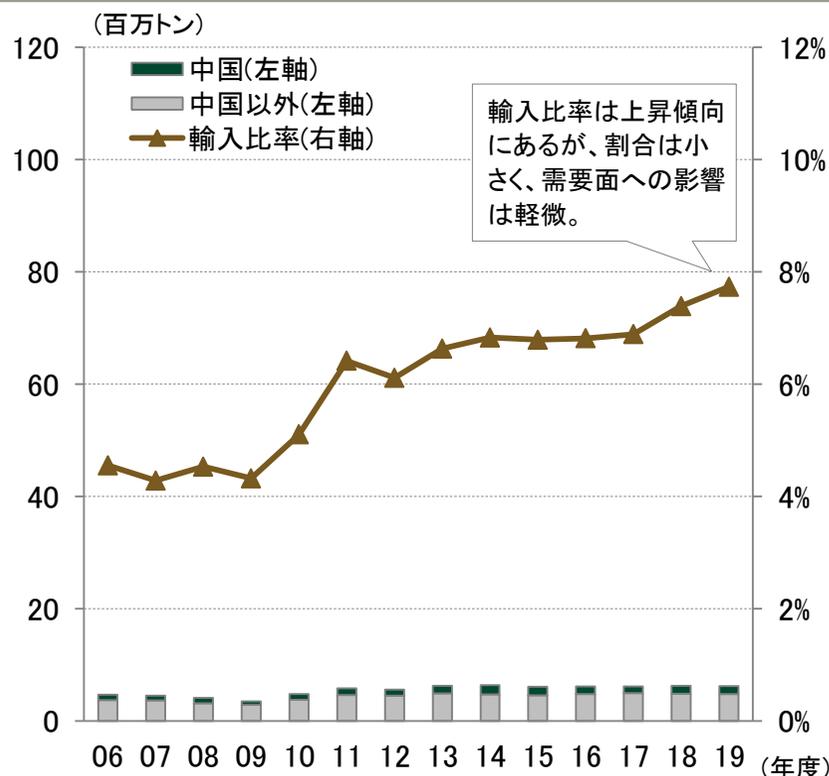
鋼材の国内出荷量は、リーマンショックを経た09年度に07年度比▲23%減少した後回復が見られましたが、建設需要は低位である他、自動車メーカーによる海外生産シフト等もあって、19年度は80百万トンと同▲24%の水準に止まっています。

今後、短期的には新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大を背景とするユーザーの生産・勤務体制の見直しや商談機会の減少等から、出荷量が低下する恐れがあります。また、中長期的にはユーザーの一段の海外シフトや人口減等を背景に市場縮小は避け難く、鉄鋼流通業者においても取扱量の低下が懸念されます。

鋼材の国内出荷量推移



(参考)日本の鋼材輸入量推移



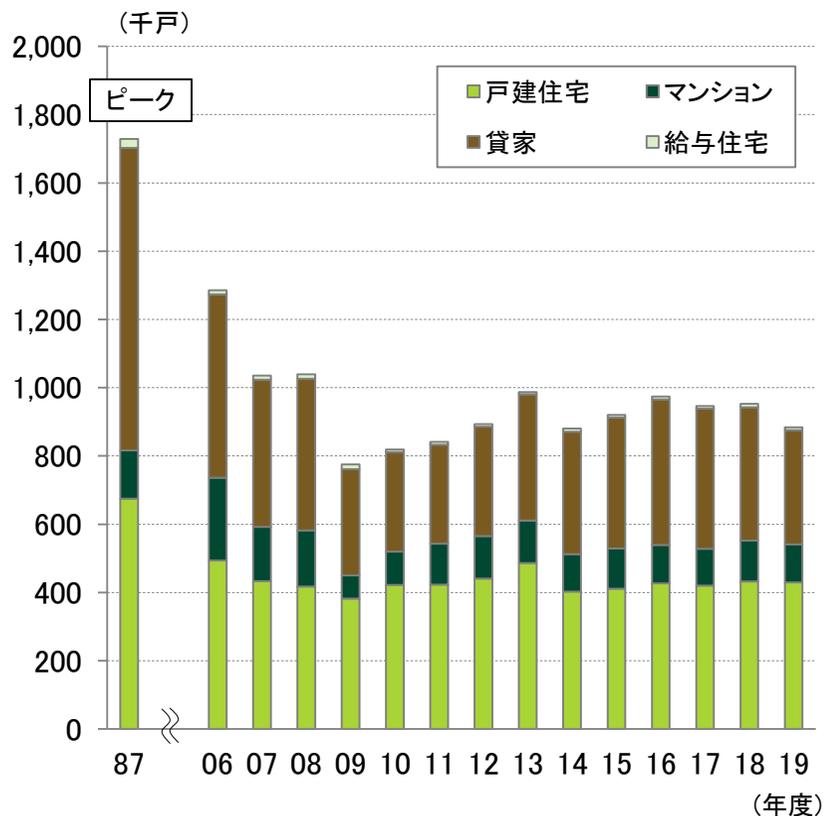
(出所)経済産業省「生産動態統計」、財務省「貿易統計」を基に弊社作成

(参考)需要先の動向① 国内建設市場

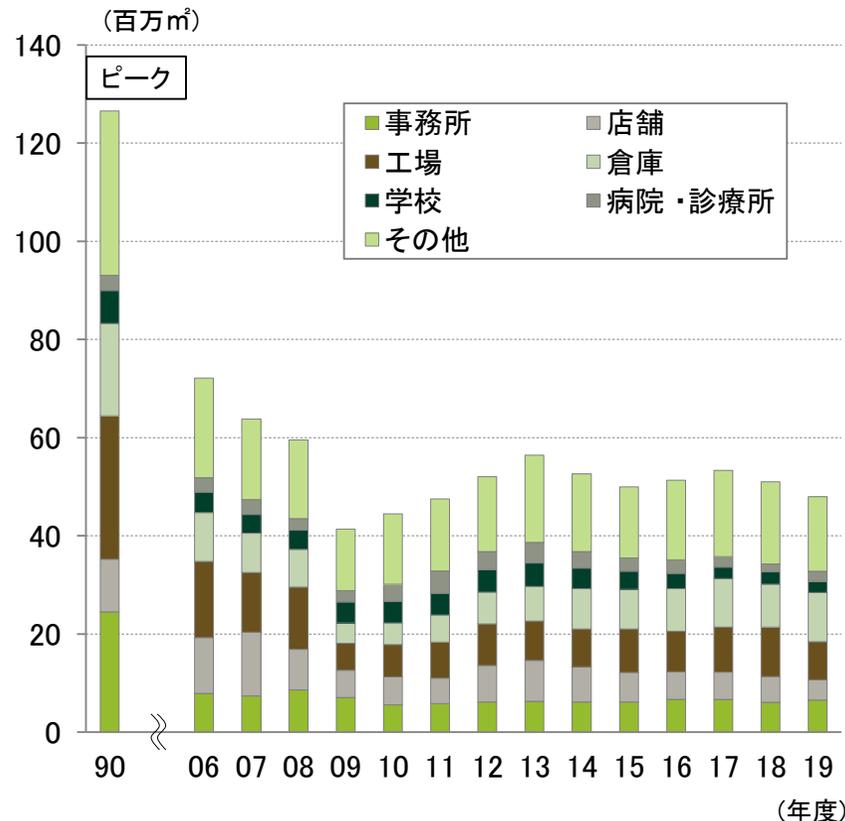
建築着工の動向を見れば、住宅・非住宅共にリーマンショック後の落ち込みからは回復しましたが、リーマンショック前と比べれば依然低水準に止まっています。

今後について、足元では新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、建設工事の中断や着工の先送り等が散見されており、短期的なマイナス影響は避け難い状況ですが、収束に向かえば都市再開発等の投資増により底堅く推移すると見られます。また、中長期的には人口・世帯数の減少という構造的な要因から、住宅・非住宅共に落ち込む見通しです。

新設住宅着工戸数推移



非住宅着工床面積推移



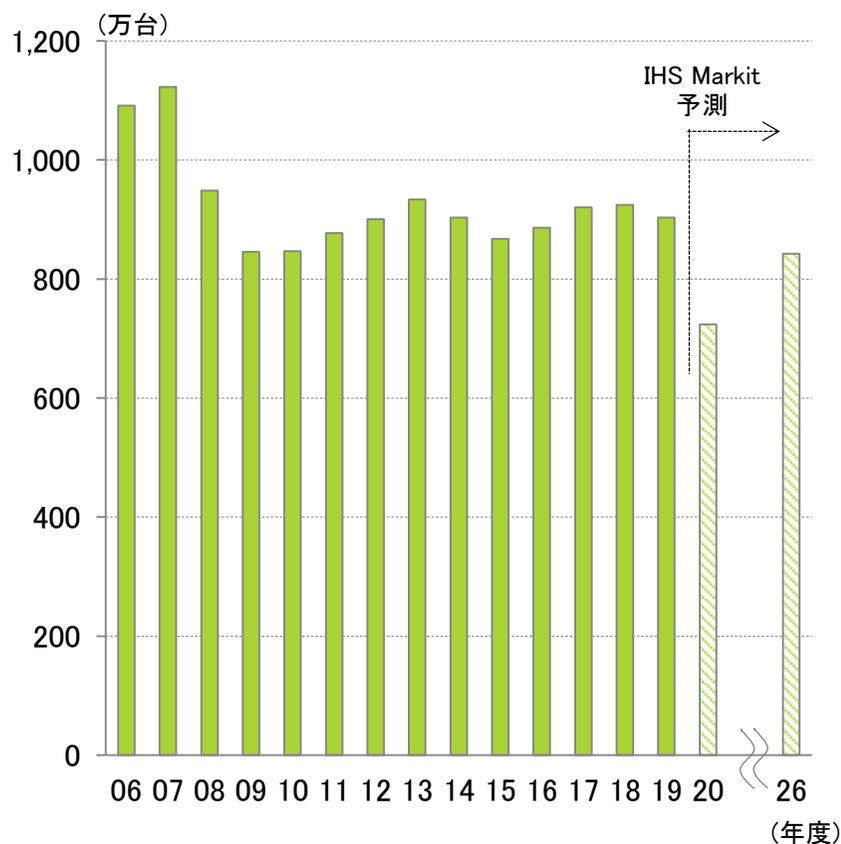
(出所)国土交通省「建築着工統計」を基に弊社作成

(参考)需要先の動向② 国内自動車市場

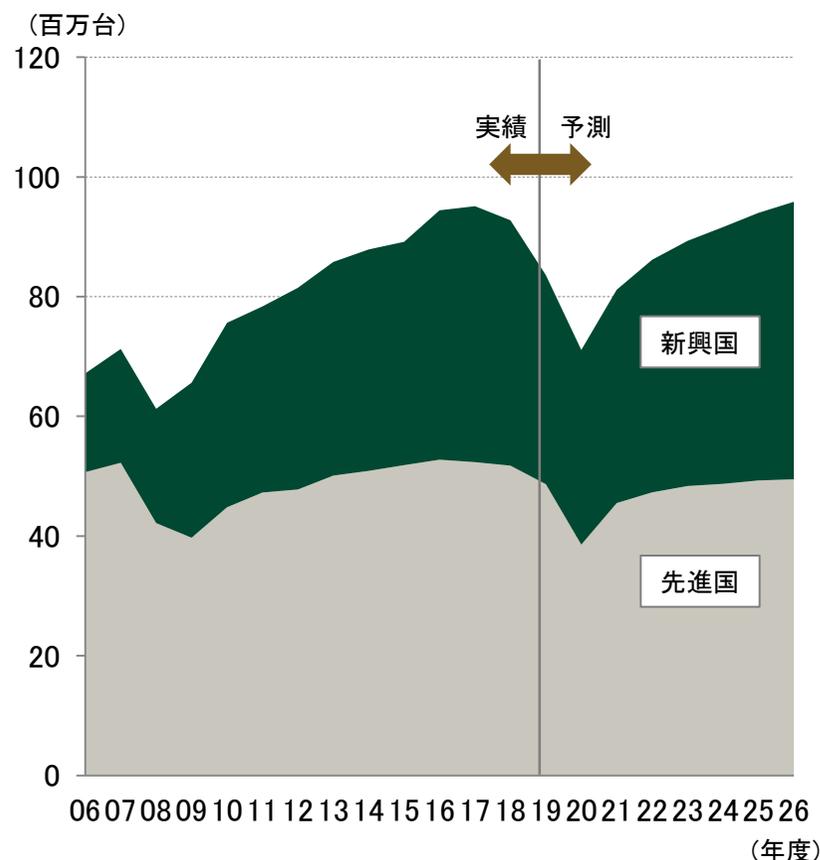
国内自動車生産台数は07年度にピークとなった後、リーマンショックを経てやや持ち直しの動きも見られましたが、海外生産シフト等もあって近時は頭打ちで推移しています。

今後、短期的には、消費増税に伴う消費マインドの冷え込みに加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う完成車メーカーの減産影響もあり、大幅な落ち込みは避け難い状況です。更に、中長期的には内需減や一段の海外シフト等から緩やかな減少が想定されます。

国内自動車生産台数推移



(ご参考)世界自動車生産台数予測



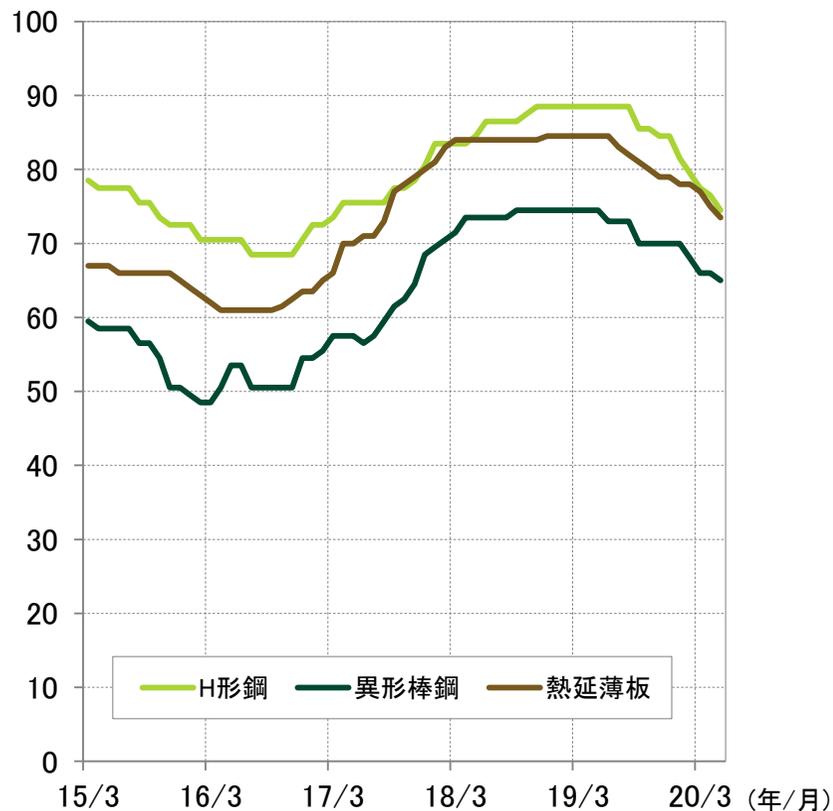
(出所) IHS Markit「Brand Segment LV Production Forecast」を基に弊行作成

1. 国内鉄鋼市場の動向 ～価格

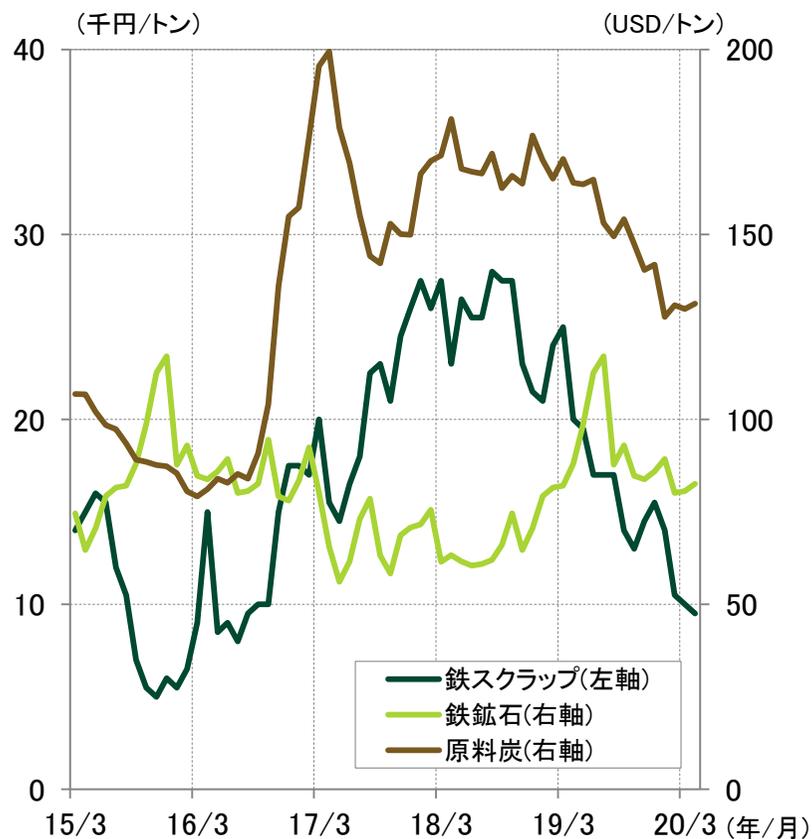
16～19年にかけて、中国政府の景気刺激策により需要が拡大した一方で、同国での炭鉱の操業規制が実施されて需給がタイト化し、原材料価格は上昇傾向で推移しました。これを受け、国内鉄鋼メーカー・鉄鋼流通各社は製品値上げを推し進めたことから、鋼材価格も上昇してきました。

しかしながら、19年以降は米中貿易摩擦に端を発し、中国をはじめ世界的に景気減速感が高まり、鉄スクラップや原料炭、鋼材の価格は下落に転じています。加えて、足元の新型コロナウイルス感染拡大を背景として、市況下落が進行する可能性があります。

国内鋼材価格(店売り)推移



原材料価格推移



(出所)鉄鋼新聞社ホームページ(過去の市中相場)、財務省「貿易統計」を基に弊社作成

2. 鉄鋼流通業界の特徴① ～地域別受注量

国内鋼材は基本的に地産地消で、地域毎に特徴が異なります。例えば、中部は自動車用、中国・四国及び九州は造船用の比率が高くなっており、その他地域では建設用が多くを占めています。

地域別の鋼材受注量及び用途別シェア

地域 ^(注1)	18年度鋼材受注量 (構成比)	普通鋼鋼材の用途別受注量シェア(17年度) ^(注2)			
		①	②	③	④
北海道・東北	3,510千トン (5.7%)	建設 (67.6%)	自動車 (20.3%)	造船 (4.6%)	その他 (7.5%)
関東	16,914千トン (27.6%)	建設 (53.2%)	自動車 (25.1%)	産業機械 (7.1%)	その他 (14.5%)
北陸	2,143千トン (3.5%)	建設 (59.8%)	産業機械 (18.5%)	自動車 (8.5%)	その他 (13.2%)
中部	13,556千トン (22.1%)	自動車 (63.0%)	建設 (23.6%)	電気機械 (5.6%)	その他 (7.7%)
近畿	12,961千トン (21.2%)	建設 (51.8%)	産業機械 (13.5%)	電気機械 (10.5%)	その他 (24.2%)
中国・四国	7,265千トン (11.9%)	造船 (50.8%)	自動車 (22.4%)	建設 (19.7%)	その他 (7.0%)
九州	4,879千トン (8.0%)	造船 (30.4%)	建設 (27.8%)	自動車 (27.1%)	その他 (14.7%)

(注1)地域分類は以下の通り(次頁以降も同様)。

北海道・東北: 北海道、青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島

関東: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野

北陸: 新潟、富山、福井、石川

中部: 岐阜、静岡、愛知、三重

近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国・四国: 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(注2)用途別受注量を最終用途の判明しているものの合計で除して算出。18年度は未公表。

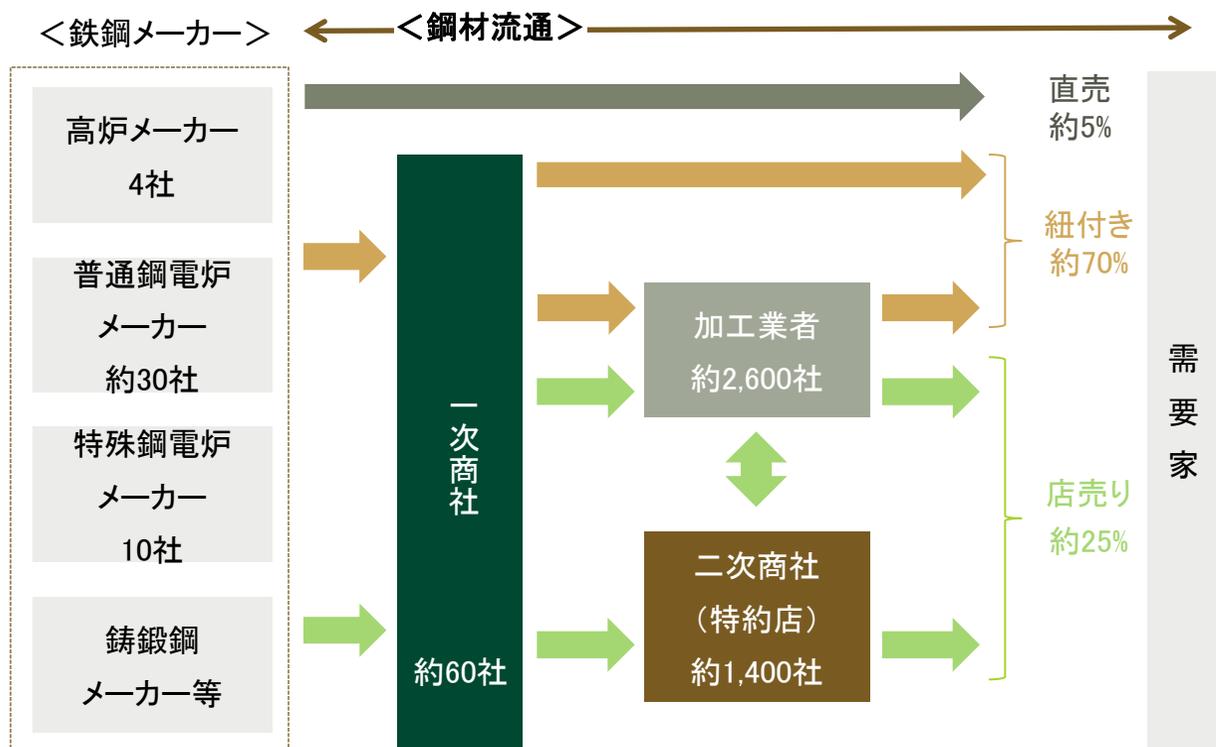
(出所)経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

2. 鉄鋼流通業界の特徴② ～鋼材の国内流通構造

国内の鋼材流通は、殆どが商社を介する形となっています。需要家の生産計画に沿って事前に鋼材の所要量等を取り決める自動車や造船向けでは「紐付き」を主体とする一次商社から直接ユーザーへ納入される一方、必要なタイミングで都度鋼材を調達する建設向けでは「店売り」を主体とする二次商社を経由する格好となっています。

「店売り」では、販売の都度ユーザーと価格交渉を行う構造となっています。こうしたなか、比較的規模の小さい流通業者に対しユーザーのバイイングパワーの方が強い傾向にあるため、材料市況上昇時の製品価格への転嫁が進み難しくなっています。

鋼材の国内流通構造



鉄鋼流通業者の取引形態別の特徴

	紐付き	店売り
価格決定	数回/年	都度
在庫リスク	無	有
マージン	安定	変動大
主な需要家	自動車 造船	建設

(出所)経済産業省「鉄鋼業の現状と課題」を基に弊社作成

3. 鉄鋼流通業界を取り巻く環境の変化② ～高炉メーカー(2)

更に、上工程だけでなく、下工程における構造改革や業務運営の効率化を図った組織体制の見直しが進められつつあります。

こうした取組の進展に伴って、鉄鋼流通業者にとっては、仕入価格の上昇圧力が強まることが想定されます。加えて、工場休止地域に立地する流通業者は取扱量の減少を余儀なくされる可能性もあります。

上工程以外の構造改革施策

企業	対象	実施時期	内容
日本製鉄 (G会社含む)	下工程	19/10月実施済	✓ UO鋼管ライン(注)を休止し、君津製鉄所へ集約 (注) U7プレス、Oプレスにより成形し溶接した鋼管。
		20年度末目途	✓ 堺製造所の薄板ラインの一部を休止し、君津・名古屋製鉄所へ集約
		20年度末目途	✓ 広畑製鉄所のブリキ製造ラインを休止(休止時期前倒し: 従来21年度上期中目途)
		22年度下期目途	✓ 名古屋製鉄所の厚板ラインを休止し、鹿島・君津・大分製鉄所に集約
		22年度末目途	✓ 製鋼所のチタン丸棒製造専用設備を休止
		21年度上期末目途	✓ 大分製鉄所(光地区)のチタン溶接管製造ラインを休止
		(1)20/12月末目途 (2)20年上期末目途	✓ 衣浦製造所の(1)熱延工場及び、(2)精密品製造専用設備の休止
	20/5月目途	✓ 君津製作所の小径シームレス鋼管製造ラインを休止し、和歌山製鉄所(海南地区)に集約	
	組織	20/4月目途	✓ 16拠点の製鉄所・製造所を6製鉄所体制へ統合・再編成(製鉄所部組織数△3割強) ✓ 本社室組織数を△3割削減することによる本社組織の大括り化
JFE ホールディングス	下工程	20/3月末目途	✓ 東日本製鉄所(京浜地区)の鋼板加工、表面処理ラインの一部休止
		23/3月末目途	✓ 東日本製鉄所(千葉地区)の缶用鋼板製造ラインの休止

(出所)プレスリリースを基に弊行作成

3. 鉄鋼流通業界を取り巻く環境の変化③ ～電炉メーカー～

一方、電炉メーカーでも同様に工場の閉鎖・休止や事業再編の動きが進みつつあります。

電炉メーカーの動向

時期		内容
2014年	2月	大三製鋼が工場休止・廃業
	3月	中央圧延が工場休止・廃業
	3月	新北海製鋼業(大阪製鉄子会社)が廃業
2015年	4月	新関西製鉄が星田工場の製鋼工程を休止
	9月	東京製鉄が岡山工場の電炉を1基に集約
	12月	王子圧延(王子製鉄子会社)が埼玉工場を閉鎖
2016年	3月	大阪製鉄による東京製鉄のTOBが完了
	3月	共英製鋼が枚方事業所大阪工場を閉鎖
	3月	大阪製鉄が大阪恩加島工場の製鋼工程を休止
2018年	4月	東京製鋼と伊藤製鉄所が資本業務提携を締結
	8月	合同製鉄が朝日工業に対するTOB実施を発表

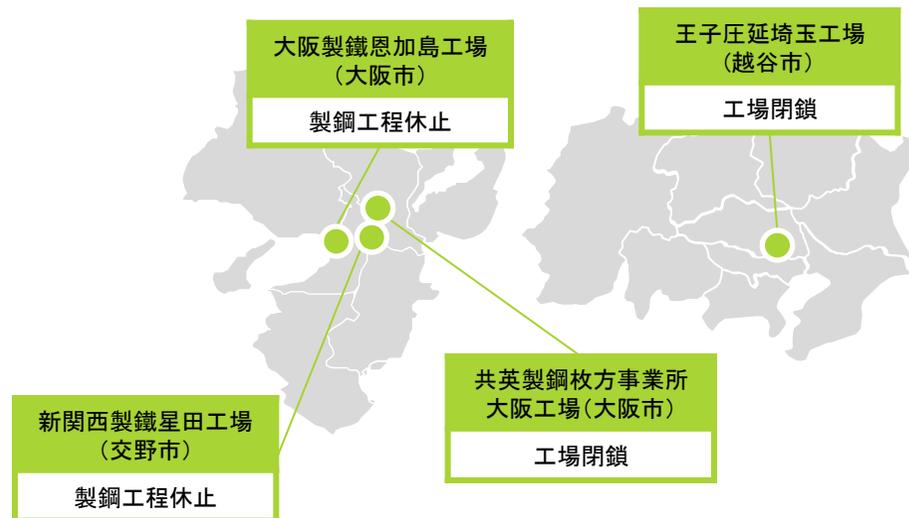
再編

- 東京製鋼と伊藤製鉄所の資本業務提携 (18/4月)

■両社の工場分布



工場閉鎖・休止



- 合同製鉄による朝日工業の株式公開買付(TOB) (19年3月)

■両社の工場分布



(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

4. 鉄鋼流通業者の動向

鉄鋼メーカーによる生産能力削減等の動きを受け、鉄鋼建材の分野では、バイイングパワーの強化等を狙った、系列を跨いだ一次商社同士の大型再編が起っています。また、地域補完やユーザーによる販路拡大、加工分野の強化等を目的とした一次商社と二次商社の再編事例も散見されます。

一次商社による主要な再編事例(14年以降)

買収・出資 パターン	主要な再編事例		狙い
	時期	内容	
一次商社 ×	14/11月	メタルワン建材と三井物産スチールの建設用鋼材事業及び製鋼原料事業が統合し、三井物産メタルワン建材(現エムエム建材<注>)設立。 (注)資本構成はメタルワン50%、三井物産スチール50%。	<ul style="list-style-type: none"> 規模拡大によるバイイングパワー強化 在庫保管や物流等の効率化、営業拠点の統廃合などによる固定費圧縮 得意分野や地域の補完 等
一次商社	16/1月	伊藤忠丸紅テクノスチールと住商鉄鋼販売及び住友商事子会社3社の鉄鋼建材事業が統合し、伊藤忠丸紅住商テクノスチール(注)設立。 (注)資本構成は伊藤忠丸紅鉄鋼66.7%、住友商事33.3%。	
一次商社 ×	15/6月	阪和興業が建設用鋼材卸売、及び鉄骨・鉄筋工事を手掛ける大鋼産業(大阪府大阪市)を買収。	【一次商社側】 <ul style="list-style-type: none"> 二次商社の手掛ける即納・小口・加工等の獲得によるサービス面の強化 販売エリアの補完 ユーザーとの紐帯が強い二次商社からの的確なニーズ収集 【二次商社側】 <ul style="list-style-type: none"> 鋼材調達や利幅の安定化 一次商社の信用力獲得 事業承継、事業再生
二次商社	16/3月	阪和興業が建設向け主体の鋼材卸売業者であるダイサン(大阪府大阪市)を買収。	
	16/10月	日鉄住金物産が建設向け主体の鋼材卸売業者である三洋(鳥取県鳥取市)を買収。	

(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

5. 総括

需要見通し

- ✓ 足元の新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要落込み
- ✓ ユーザーの海外生産シフトの進展、人口・世帯数の減少

×

鉄鋼メーカーの方向性

- ✓ 更なる工場集約・閉鎖、事業者間の再編の進展

||

鉄鋼流通業者への影響

- ✓ 取扱量の短期的な減少、及び中長期的な漸減
- ✓ 鉄鋼メーカーからの価格圧力が増大する一方、価格転嫁は困難
- ✓ 鉄鋼メーカーの工場集約地域での取扱量減少

今後、事業環境の悪化に伴って
鉄鋼流通業者では淘汰・再編が加速する見通し

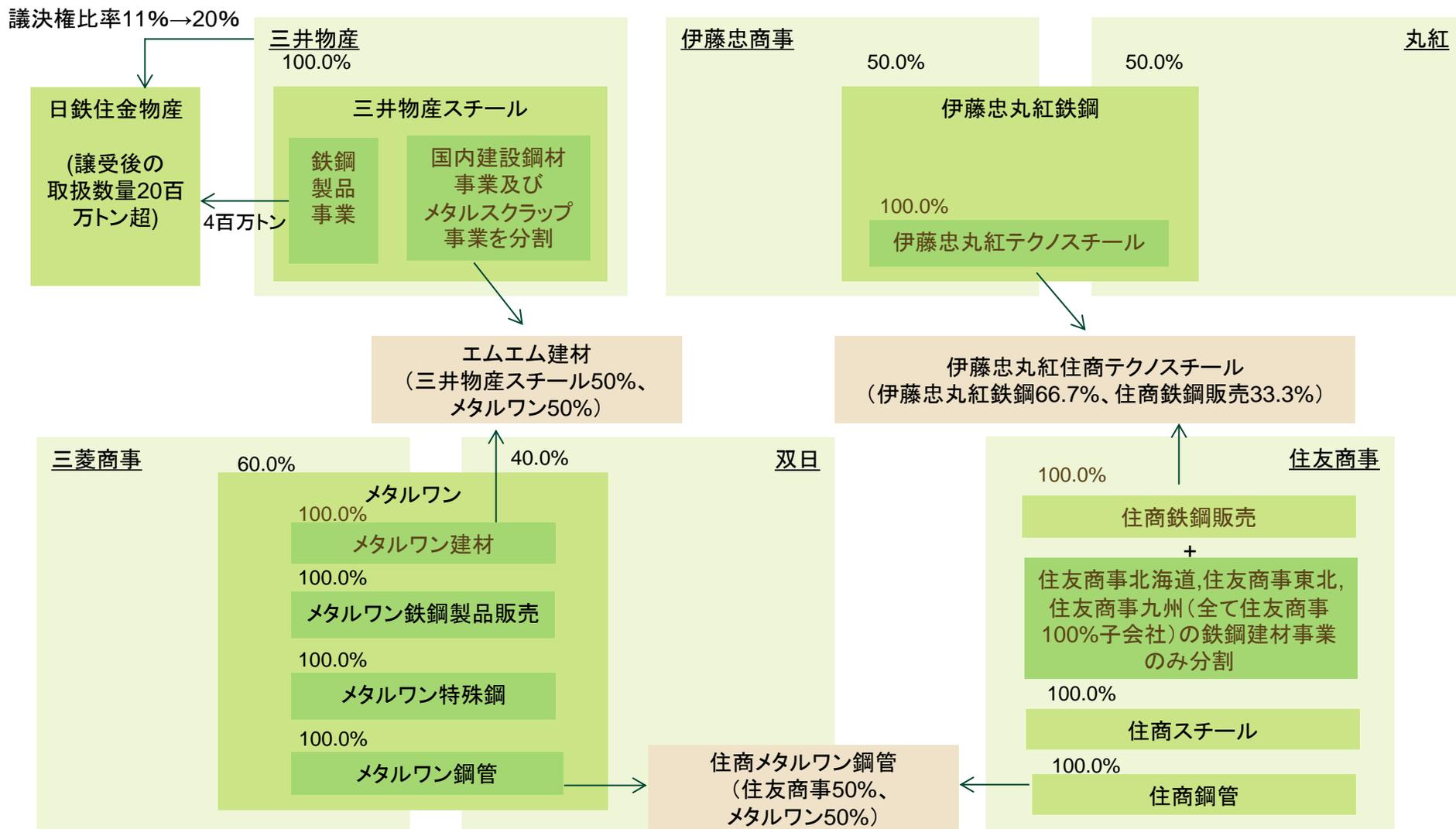
＜再編時に想定される切り口＞

- ✓ 販売地域の拡大
- ✓ 取扱鋼種の拡充
- ✓ 川下分野への進出・領域拡大

+

- ✓ 後継者不在等を背景とする事業承継
- ✓ 事業再生

(参考)一次商社同士の再編事例(14年以降)



※19年4月に国内事業を統合

(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

(参考)一次商社と二次商社の再編事例(19年～)

時期	買収・ 出資企業	被買収・被出資企業				買収・出資のポイント				
		企業名	所在地	業態	主な 需要先	地域	鋼種	加工	販路	その他
20/10月 予定	日鉄ステンレス 日鉄物産 住友商事	NSステンレス 日鉄ステンレス販売	東京都中央区 東京都中央区	ステンレス鋼材販売	自動車・機械					グループ 再編
20/4月	JFE商事	JFE商事鉄鋼建材 JFE商事薄板建材	東京都千代田区 東京都千代田区	薄板建材販売	建設					グループ 再編
19/11月	井上特殊鋼	西川機械製作所	静岡県浜松市	金属加工	機械			○		
19/6月	UEX	住商特殊鋼	東京都千代田区	鋼材販売	建設				○	
19/5月	エムエム建材	松本	千葉県木更津市	鋼材販売	建設				○	事業継承
19/4月	阪和興業	小和野商店	大阪府大阪市	鋼板シャーリング	自動車・機械			○		事業継承
19/3月	富士鋼材	常磐鋼建	香川県高松市	鋼材販売	建設	○				
19/2月	住友商事 日鉄物産	サミットスチール NSMコイルセンター	大阪府大阪市 東京都江東区	コイルセンター	建設	○				事業協業
19/1月	伊藤忠丸紅住商 テクノスチール NTN	羽咋丸善	石川県羽咋市	鍛造部品製造	自動車・機械				○	

(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

(参考)一次商社と二次商社の再編事例(17~18年)

時期	買収・出資企業	被買収・被出資企業				買収・出資のポイント				
		企業名	所在地	業態	主な需要先	地域	鋼種	加工	販路	その他
18/10月	阪和興業	創電社 アイワスチール	宮城県大崎市 愛知県豊橋市	住宅基礎鉄筋製造	建設			○		
18/10月	日鉄物産	日本鐵板	東京都中央区	建材薄板製造	建設			○		
18/3月	メタルワン	メタルワン西日本 メタルワン四国 メタルワン九州	広島県広島市 香川県高松市 福岡県福岡市	鋼材販売						グループ再編
17/12月	阪和興業	ジャパンライフ	東京都葛飾区	コンクリート製品向け金具製造	建設	○		○	○	
17/9月	JFE商事	新潟スチール 北陸スチール	新潟県三条市 石川県能美市	厚板加工	建設					グループ再編
17/9月	JFE商事 トーセン	三輪鉄建	青森県上北群	胴縁加工	建設			○		
17/4月	阪和興業 JFE商事	近江産業	大阪府大阪市	コイルセンター	機械					再生支援
17/4月	神鋼商事	森本興産	大阪府大阪市	コイルセンター	建設	○			○	
17/4月	阪和興業	亀井鐵鋼	愛媛県松山市	鋼材卸売業	建設	○			○	
17/4月	阪和興業	山陽鋼材	広島県広島市	鋼材加工・卸売業	機械	○		○	○	
17/3月	豊田通商 豊通鉄鋼販売	オリエンタル鋼業 豊通鋼管 関東コイルセンター	富山県射水市 愛知県大府市 東京都青梅市	鋼材加工	建設・機械					グループ再編
17/1月	伊藤忠丸紅鉄鋼 阪和工材	MSSステンレスセンター (新潟事業のみ)	新潟県燕市	ステンレス加工	建設	○	○	○		

(出所)各社プレスリリースを基に弊行作成

(参考)一次商社と二次商社の再編事例(15～16年)

時期	買収・出資企業	被買収・被出資企業				買収・出資のポイント				
		企業名	所在地	業態	主な需要先	地域	鋼種	加工	販路	その他
16/10月	日鉄物産	三洋	鳥取県鳥取市	鋼材卸売業	建設	○			○	
16/9月	阪和興業	ステンレスパイプ工業	大阪府堺市	ステンレス溶接鋼管製造販売	建設・機械					再生支援
16/4月	阪和興業	松山資材	愛媛県松山市	鋼材卸売業	建設	○			○	
16/3月	日鉄物産	太陽シャーリング	広島県広島市	厚板加工	造船	○	○	○	○	
16/3月	日鉄物産	サカコー	香川県坂出市	厚板加工	造船	○	○	○	○	
15/12月	小野建	秋山寅吉商店	香川県丸亀市	鋼材卸売業	建設	○			○	
15/9月	佐藤商事	大東鋼業	神奈川県横浜市	鋼板シャーリング	自動車・機械			○		再生支援
15/9月	阪和興業	メタルテック	東京都墨田区	パンチングメタル製造販売	機械					事業承継
15/6月	阪和興業	ダイサン	大阪府大阪市	鋼材卸売業	建設	○				事業承継
15/3月	阪和興業	福岡鋼業	岡山県津山市	鉄鋼・同加工品卸、機械工具卸	建設	○				
15/3月	阪和興業	大鋼産業	大阪府大阪市	鉄鋼・同加工品卸、鋼構造物及び鉄筋工事業	建設	○				
15/2月	小野建	ナダコー	兵庫県神戸市	鋼材卸売業	建設	○			○	事業承継

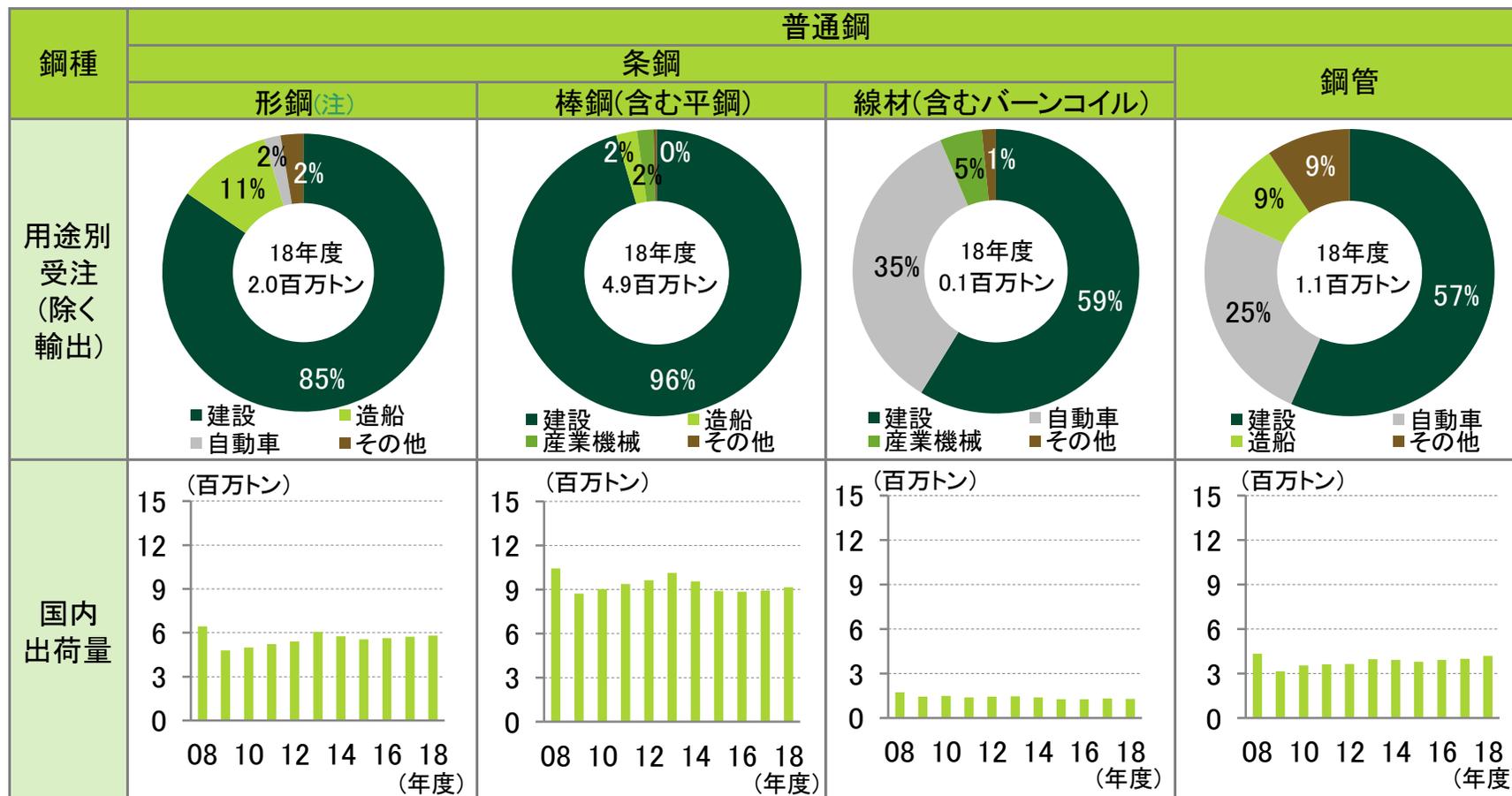
(出所)各社プレスリリースを基に発行作成

Appendix.

鋼種別の動向①

鋼種別に見れば、普通鋼のうち、条鋼については鉄骨・鉄筋やねじ類等として主に建設用として用いられる割合が多くなっています。

鋼種別の用途・出荷量推移



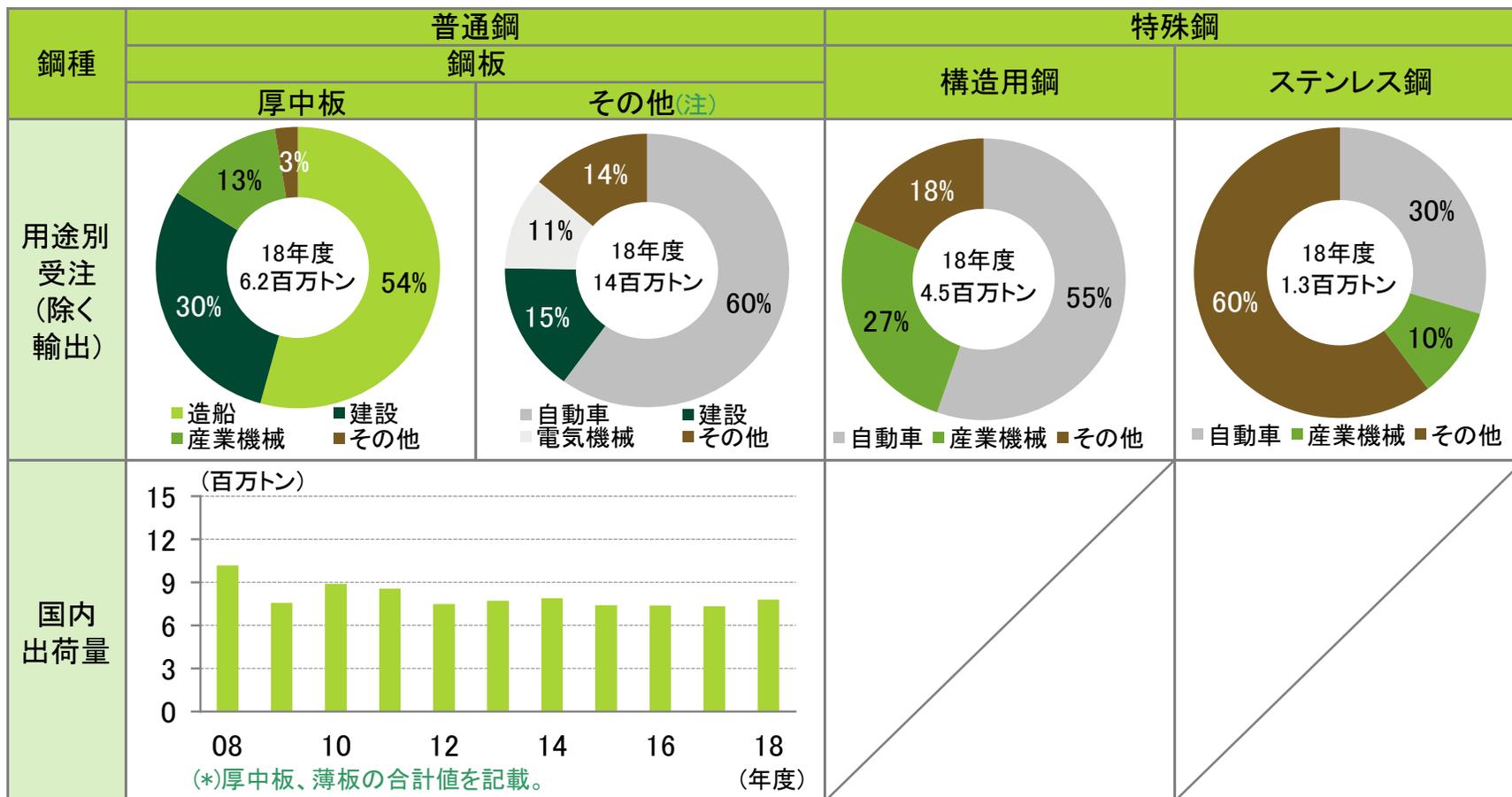
(注)大形形鋼(含むH形鋼)、中小形形鋼、軽量形鋼の合計。

(出所)経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

鋼種別の動向②

普通鋼のうち、鋼板は造船や自動車向け、特殊鋼については自動車や機械向けが多くの割合を占めています。

鋼種別の用途・出荷量推移



(注)熱延コイル、熱延薄板、冷延鋼板、冷延コイル、電気鋼板、ブリキ、亜鉛鉄板、その他表面処理鋼板の合計。

(出所)経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

金属加工の種類による分類

金属の加工方法には様々な種類があり、専門メーカーの他、ユーザーによる内製、商社の加工部門等多数のプレーヤーが存在しています。また金属加工業界には、オーナー系の中小・零細企業が多数存在する点も特徴です。

金属加工の種類による分類

分類	定義	代表的な加工方法		関連団体	正会員数(注)
成形	熱や圧力を加えることで、金属材料の一部を除去することなく変形させる加工。	鋳造	砂型鋳造	日本鋳鍛鋼会	44社
			ダイカスト	日本ダイカスト協会	199社
		塑性加工	鍛造	日本鍛造協会	135社
			プレス加工	日本金属プレス工業協会	27社
			粉末冶金	日本粉末冶金工業会	35社
			押出加工		
伸線	線材製品協会	140社			
切削	金属材料から不要な部分を除去することで最終製品の形状に近づける加工。	切削加工	旋削		
			ねじ切り		
			穿孔		
		研削加工	研磨		
切断	シャーリング	全国厚板シャーリング工業組合	191社		
	スリット	全国コイルセンター工業組合	97社		
接合	金属又は熱可塑性物質を用いて金属材料同士を一体化させる加工。	溶接	ガス溶接	日本溶接協会	279社
			アーク溶接		
		ろう接	ろう付け		
		はんだ付け			
その他	-	熱処理	焼鈍	日本金属熱処理工業会	197社
			焼入れ・焼戻し		
		表面処理	溶射加工	全国鍍金工業組合連合会	1,268社
			鍍金		

(注)団体毎に同一企業が重複しているケースがある他、材料メーカーや商社等も含まれている。

(出所)各団体ホームページを基に弊行作成